

Title	昭和六年度下半期三田史學會研究會例會報告
Sub Title	
Author	
Publisher	三田史学会
Publication year	1932
Jtitle	史学 Vol.11, No.2 (1932. 7) ,p.178(324)- 178(324)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19320700-0178">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19320700-0178</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

# 昭和六年度下半年三田史學

## 會研究會例會報告

昭和六年度下半年三田史學研究會に於ける講演者及びその演題を列舉せば左の如し。

昭和六年

九月二十三日(水)午後三時、於萬來舍洋間、第二百八回例會

愛蘭問題に就いて……………山 田 秀 男君

フイルマーの Patriarch に就いて……………占部百太郎氏

氏族制度の崩壊に就きて……………川 上 多 助氏

十月九日(金)午後三時、於萬來舍洋間、第二百九回例會

宋代の市舶司に就いて……………本 多 正 一君

支那旅行談……………間 崎 万 里氏

十一月五日(木)午後二時半、於萬來舍洋間、第二百十回例會

アジアに於ける煙草とその使用(ロウフ

アー)紹介……………長 島 實君

五行説に就いて……………橋 本 増 吉氏

十一月二十七日(金)午後二時半、於萬來舍洋間、第二百十一回例會

山東の武梁祠に就いて……………中 丸 平 一 郎君

物徂徠の政治論に就いて……………有 賀 春 雄氏

昭和七年

一月二十一日(木)午後二時半、於萬來舍洋間、第二百十二回例會

王朝時代の私人の交通……………堀 居 寛君

行商と公行とに就きて……………太 田 達 雄君

清教主義に關する一考察……………藤 原 守 胤氏

二月四日(木)午後二時半、於萬來舍洋間、第二百十三回例會、

卒業論文披露會(第一回)

初期羅馬帝國に於ける異教に就いて……………篠 崎 昌 夫君

パピルスの發見と新約聖書……………齋 藤 成 一君

獨逸の戦争責任問題……………田 中 荆 三君

Polybius に於ける Iberia, Gallia の地理……………大 島 巳 之 助君

古代ガリヤに於ける政治制度と其の統一

的氣運の變遷に就いて……………近 山 金 次君

二月二十日(土)午後二時、於萬來舍洋間、第二百十四回例會、

卒業論文披露會(第二回)、卒業生送別會

英本國と其の自治領に就いて……………爲 田 義 雄君

戰國時代に於ける連歌師の生活……………小 林 均 三君

軍記物語及び吾妻鏡に現れたる女性の研究……………齋 藤 國 雄君

オホナムチ神の讓國説話に就いて……………清 水 辰 夫君